

集落再生だより

第1号 平成30年8月13日発行

熊本地震により甚大な被害を受けた6集落（古閑、大切畑、畑、風当、下小森、布田）の再生に向けて、各集落のまちづくりの話題や復旧・復興工事の進捗状況などを『集落再生だより』としてまとめ、定期的にお伝えしていきます。

1 集落再生事業の状況をお知らせします

昨年より、各集落の要望書を踏まえ、国の補助事業申請や地盤の調査を行った上で、住まいの再建に向けた宅地耐震化や擁壁について、個別説明会でのご要望も踏まえ、詳細設計を進めてきました。

その設計が8月末に完了し、今後順次、宅地毎に工事を進めていきます。また、工事に先立ち、用地測量を行い、地震により歪んだ各宅地の境界を確定していきます。**工事や用地測量に際し、各集落の方にご相談や立会をお願いする場合がありますので、ご協力のほど、よろしくお願いたします。**

並行して、集落の再生に向けて、道路、公園・緑地、集会所などの詳細設計を進めるとともに、各集落での話し合いを通じて、震災の記憶・記録や復興への歩みをまとめる記録集の作成を進めていきます。

【集落再生事業の進め方】

集落懇談会

要望書提出

国の補助事業申請

地盤の調査、測量

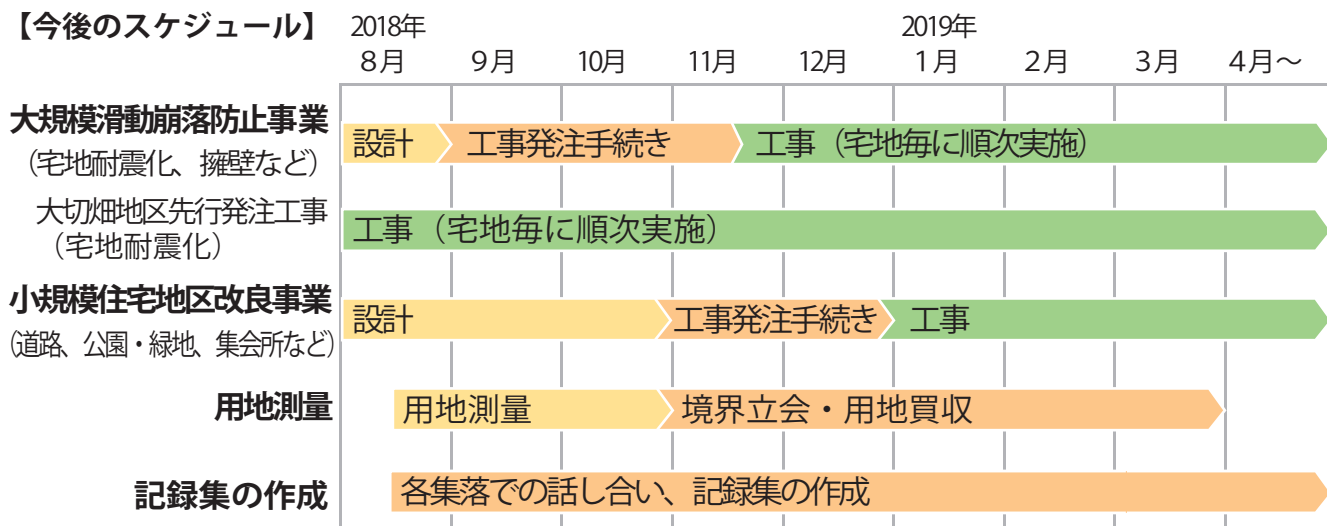
詳細設計、個別説明会

工事発注手続き

用地測量

工事

【今後のスケジュール】



2 大切畑地区で先行して工事を進めています

大切畑地区では4月30日に起工式があり、多くの関係者の方々の出席のもと、早期の宅地復旧を祈願しました。

大切畑地区で先行して進めているのは、地盤のすべりを止めるための工事（宅地耐震化）で、これにより、地震に強い宅地になります。

この工事の中で、地盤にセメントを混ぜて固める対策を行いますが、周辺環境に影響を与えることなく安全かつ確実に工事を進めるため、現在、セメントを混ぜる量や種類を決める試験を実施しています。この地区の黒色の火山灰質粘性土はセメントを混ぜても固まりにくい特性があり、この試験に時間がかかっています。

大切畑地区を皮切りに、今後各集落でも同様の工事を進めていきます。



3 映画『西原村』の上映会が開かれました

熊本地震で被災した住民の想いや、復興に向けて奮闘する村役場職員の姿を描いた、ドキュメンタリー映画『西原村』が完成し、7月20・21日に西原村構造改善センターで上映会が開催され、2日間で約300名の方が参加されました。

映画を作成された「ガスコイン」グループより、映画を村へ譲渡いただきましたので、今後、村内外での上映会などを通じて、次の世代に向けた震災の記憶の伝承などに役立てていきます。



4 地域おこし協力隊が着任、業者が決定しました

8月2日より、2名の地域おこし協力隊が着任し、今後、集落再生にも関わっていきます。また、設計・まちづくり、測量、工事を行う各業者が決まりました。各集落や皆様のもとへ伺った際には、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

◆地域おこし協力隊：吉丸 和男（よしまる かずお）
林 大喜（はやし ひろき）

◆工事業業者：(株)八方建設（大切畑地区先行工事）

◆設計・まちづくり業者：パシフィックコンサルタンツ(株)
(株)都市技術設計コンサルタント
(株)地域計画連合

◆測量業者：(株)新興測量設計
(株)十八測量設計
(株)都市技術設計コンサルタント
(株)栄泉測量設計

佐賀出身です。
復興業務の支援
を担当します。

東京出身です。
観光振興、地域振興
を担当します。



地域おこし協力隊
吉丸和男さん(左)と林大喜さん(右)

豆知識

地域おこし協力隊とは、「村から委嘱を受けて地域協力活動に取り組む方」のことです。